⑵ 決定書又は判決書により投票をした者	（氏名）			
⑶ 不在者投票の用紙及び封筒を返還して投票した者	（氏名）			
⑷ 点字により投票をした者	人			
⑸ 代理投票	投票人	補助者		
	（氏名）	（氏名）	（氏名）	
	代理投票者数　人			
⑹ 投票拒否の決定をした者		投票人の氏名	拒否の事由	仮投票の有無
	日本国憲法の改正手続に関する法律第63条の投票の拒否			
	日本国憲法の改正手続に関する法律第59条の代理投票の拒否			
6 在外投票人の投票の状況	投票者	仮投票による投票者		
	（男）			
	（女）			
	（計）			
	備考			
7 期日前投票所事務従事者	総数　何人　内	1 市区町村選挙管理委員会書記　何人 2 市区町村の職員　何人 3 その他の者　何人		

何年何月何日調製

投票管理者（職）　氏名

我々は、この投票録の記載が真正であることを確認して、署名する。

投票立会人　氏名

投票立会人　氏名

備考

1　この様式は、期日前投票所における投票録の様式である。

2　投票人の氏名のみの記載では、投票人を確認することが困難である場合においては、住所等を記載して確認することができるようにすること。

3　「立会時間」欄には、投票立会人を交替することとしている場合において選任の際立ち会うこととされた時間又は投票立会人が辞職をした場合にその投票立会人が実際に立ち会った時間を記載しなければならない。

4　「5　投票の状況」欄は、在外投票人以外の投票人の投票の状況を記載しなければならない。

5　「6　在外投票人の投票の状況」欄は、在外投票人の投票の状況を記載しなければならない。

6　在外投票人について、市町村の選挙管理委員会の指定した期日前投票所において、投票用紙再交付者、決定書又は判決書により投票をした者、不在者投票の用紙及び封筒を返還して投票した者、郵便等による在外投票の用紙及び封筒を返還して投票した者、点字により投票をした者、代理投票をした者又は投票拒否の決定をした者があるときは、「6　在外投票人の投票の状況」欄の「備考」欄に、「5⑴」欄から「5⑹」欄までの記載方法に準じて、記載をしなければならない。

7　投票立会人を交替した場合には、引継ぎに係る書類を添付すること。

8　署名をする投票立会人は、期日前投票所の閉鎖時において選任されている投票立会人とする。

9　この様式に掲げる事項のほか、緊要と認める事項の記載については、別記第23号様式（投票録の様式）の備考10に準ずる。

別記第二十五号様式（立会人となるべき者の届出書の様式）（第二十二条関係）

開票（国民投票会、国民投票分会）立会人となるべき者の届出書

立会人となるべき者

住所　都（何道府県）何郡（市）何町（村）字何（町）何番地

氏名

何年何月何日生

何年何月何日執行　国民投票　（憲法改正案の種類）

立会いすべき開票区（国民投票会、何国民投票分会）　何開票区（国民投票会、何国民投票分会）

右のとおり本人の承諾を得て届出をします。

何年何月何日

政党その他の政治団体の名称

代表者　氏名　印

選挙管理委員会委員長（国民投票長、国民投票分会長）　氏名　あて

別記第二十六号様式（立会人となるべきことの承諾書の様式）（第二十二条関係）

承諾書

何年何月何日執行の国民投票における開票（国民投票会、国民投票分会）立会人となるべきことを承諾します。

何年何月何日

都（何道府県）何郡（市）何町（村）字何（町）何番地

氏名　印

政党その他の政治団体の名称　代表者　氏名　あて

別記第二十七号様式（開票録の様式）（第二十七条関係）

何年何月何日

執行

国民投票開票録（二以上の憲法改正案がある場合にあっては、憲法改正案の種類）

何開票区

1 開票所開設場所	何市（区）役所　（何町村役場）　（何の場所）			
2 開票立会人	党派	氏名	参会又は選任時刻	辞職の時刻及び事由
⑴ 届出による者				午前（後）何時何分 事由　何々